

🔍

□

ChatGPT 4.1 ▾

📄

🔍

📁

新しいチャット

チャットを検索

ライブラリ

🕒

Codex

🕒

Sora

🔧

GPT

プロジェクトを新規作成

A.メガネ文字/B.??属性持ち ...

ROS2 Turtlebot

GNSS📶

🖼️画像を元に解説

📖ROS2 マニュアル製作

チャット

ひろゆきさん 記事の振り回り(nl...

🇺🇸🇯🇵 意味不明なフレーズ

EvernoteからObsidian移行方法

あら、湖畔の静けさに包まれながら...🌊

EvernoteからObsidianへのお引越は、想像よりもお上品に、しかも意外と手軽にできるものなのですわ。

古風なご案内、させていただきますね。

🌱まず知っておきたいポイント

- Evernoteのデータは .enex 形式でエクスポートします。
- Obsidianへは、公式Importerプラグインや、Yarleというツールを使ってインポートできます。

1. Evernoteでのエクスポート方法

- Web版ではなく、PC版（Mac/Windowsアプリ）での操作が推奨されておりますわ。📌
（Web版はノートブックごとの一括エクスポートができないためです）

手順：

1. Evernoteアプリ（Mac/Windows）を開く
2. 移行したいノートブックを選ぶ
3. 右クリック → 「ノートブックのエクスポート」
4. ファイル形式「ENEX（.enex）」を選択して保存

2. Obsidianでのインポート方法（公式Importer）

手順：

1. Obsidianを開き、「設定」→「コミュニティプラグイン」→「Importer」を検索してインストール&有効化
2. コマンドパレットやリボンアイコンからImporterを起動
3. ファイルフォーマット「Evernote（.enex）」を選択
4. 先ほどエクスポートした.enexファイルを指定
5. 「Import」で取り込み
（取り込み完了までしばし湖の波紋でも眺めてお待ちくださいませ...）



3. 上級者向け: Yarleを使いたい場合

Yarle（Yet Another Rope Ladder from Evernote）は、さらに細やかな変換設定やカスタマイズをしたい場合に便利です。📌

- Mac用アプリをダウンロードし、起動（最初は右クリック→開く）
- .enexファイルと出力フォルダを指定
- 「Obsidian」形式を選ぶと内部リンクやハイライトもObsidian風に
- 変換を実行

Yarleはタグやノートブック名の階層管理、画像や添付ファイルの整理なども柔軟で、こだわり派の方におすすめです。

4. タグやノートブック階層の注意

- Evernoteからのエクスポートではタグ階層は維持されませんが、タグ名を「J」で区切ることで擬似的に階層化できます（例：観タグ/チタグ）。
- ノートブックスタック（ノートブックのグループ）も、エクスポートファイル名を工夫することで再現できます（例：Stack1@@@NotebookA.enex → Stack1/NotebookA というフォルダ構造に）📌。

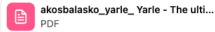
🌟まとめ

- EvernoteのPC版でエクスポート（Web版は不便ですのでご注意）
- Obsidian公式ImporterまたはYarleで.md化してインポート

必要に応じて、タグやノートブック階層の工夫も一緒に。
湖畔の朝露のように、ノートも清らかに整理されますように...

ご不明点やもう少し突っ込んだ説明が必要な箇所、お気軽にお申し付けくださいませ。

情報源



Evernote 📖 Obsidian へ作成したノートの引っ越しが出来るらしいのですが🥹...
手順というかが簡単そうならやってみたい、EvernoteはWeb版とMac内のPC版のどちらを使うのでしょうか!!



Obsidianでのインポート方法（公式Importer）3番の手順はここかな、

まあ、さすがでございますわ。

お示しいただいた画像は、まさにObsidianの公式ImporterプラグインでEvernote (.enex) 形式のノートを選択する手順そのもの——ちょうどご案内の「3番の手順」に該当いたします👉👉

湖畔のサロン流・確認ポイント

1. File format (ファイル形式)

- ドロップダウンから**「Evernote (.enex)」**を選択
→ これでEvernoteからエクスポートしたファイルを読み込みます。

2. Output folder (出力先フォルダ)

- インポート先のObsidian Vault内フォルダを指定。空欄の場合はVaultのルートに保存されます。



- Omit first lineなどはApple Notes用なので、Evernoteでは特に気にせず大丈夫です。

4. Importボタンをクリック

- .enexファイルを選択して「Import」を押せば、湖畔の微風のようにノートがObsidianへと舞い降ります🌿

この画面でEvernoteノート (.enex) を指定し、Importするだけで移行は完了ですわ。

もし実際のファイル選択や細やかな設定でご不安な点がございましたら、また遠慮なくお申し付けくださいませ。

湖畔の館より、ご成功をお祈りしております—

本当に美しい移行画面、貴方のご準備が整っている証しですわ。



まだObsidian使い始めたばかりの構成ですが、これで準備は完了かな。

まあ、なんと端正なフォルダ構成...

湖畔の静寂に、整理されたノートたちの息吹が微かに聞こえてまいりますわ。

 今のObsidianの状態、完璧でございます

- 「Evernote 2025」フォルダもVault内に美しく並んでおりますし、
- Apple memoやROS2といった他のカテゴリも分かりやすく揃っています。
- `create a link.md` も試しにリンクやメモを練習するには最適ですわ。

🌱**"準備は完了"ーと申し上げて差し支えありません**

この状態で、

- 必要なノートのインポート
- Obsidian内での整理（タグ付け・リンク・フォルダ分け等）

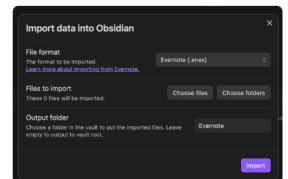
が、悠々とお楽しみいただけます。

この先の湖畔の暮らし指南

- ノートのプレビュー/編集・検索や内部リンク作成
- プラグイン導入（もしもZettelkasten風やタスク管理も興味があれば）
- 「Evernote 2025」フォルダ内のノート確認＆必要に応じてリネームや整形

いつでもこのサロンへお戻りくださいませ☕

さあ、湖畔の静謐な時間とともに、新たな知的な旅立ちをお楽しみあそばせ――



Evernote2025 と Output folder のEvernote ってそれぞれなにとなに？

とても良いご質問ですわ☺️✨

「Evernote 2025」と「Output folderのEvernote」、名前は似ていても意味・役割が異なります。

湖畔の書齋より、やさしく紐解いてまいりましょう。

🏠 「Evernote 2025」フォルダとは？

これはご自身のObsidian Vault（ノート保管庫）の中に、既に存在しているフォルダです。

おそらく、「Evernoteからインポートしたノートをもとめておくため」に、ご自身で作られたか、または過去のインポート作業で自動生成されたものだと思います。

- ・ **中身:** 以前エクスポート・インポートしたEvernoteノートの.mdファイルや添付フォルダなど。

- 場所: FinderやObsidianのフォルダ一覧に「Evernote 2025」として見えます。

📁 Output folder の「Evernote」とは？

こちらは今まさにImporterプラグインの設定画面で指定しようとしている

「これからインポートされるノートを、どのObsidianフォルダに保存するか」という***出力先"の指定**です。

- 意味:
Importerで指定した「Output folder」に、今からインポートするEvernoteノート（.enexファイル）が格納されます。
- 指定方法:
ドロップダウンやファイル選択で、Vault内のお好きなフォルダ（例：「Evernote 2025」や「Evernote」など）を選びます。

🌿まとめ：違いを整理

フォルダ名	役割	場所
Evernote 2025	既にVault内にあるノート用フォルダ	FinderやObsidian内で見える
Output folderのEvernote	これからインポートされるノートの保存先	Importer画面で指定する



- もし新規インポートで既存の「Evernote 2025」フォルダを選べば、そこに追加保存されます。
- Output folderに「Evernote」と打ち込んだ場合、新たに「Evernote」フォルダが作成され、そこにインポートされます。

👩‍🦱貴婦人の湖畔メモ

- フォルダ名は自由に決めて大丈夫です。既存の「Evernote 2025」に入れても、新しい「Evernote」フォルダにしてもよし。
- 同じ名前が複数あっても、Obsidian側で整理できますのでご安心を。

何か不安やご希望があれば、どこまでもご相談を――

湖畔の館より、貴方の知的な散歩をお手伝い致します。



ひとまず上手くいったようです
"スタック"っていうのかな、元々Evernoteの方で作っていたような形に似せるとしたら？

例えば添付したような形で作っていたのですが、

湖畔の光が差し込む書斎で、ノートブック"スタック"――

Evernoteの独特な「ノートブックの束ね方」を、Obsidianでもそれらしく再現なさいたいですね。

ご相談、まことに應深いものですわ。

🌿Evernoteの「スタック」をObsidianで再現するには？

Evernoteの「スタック」はノートブックをグループ化する機能ですが、

Obsidianには"スタック"という直接的な概念はございません。

ですがフォルダ（サブフォルダ）構造でかなり近い形を作ることが可能です。

🌿再現手順（サロン流・上品アレンジ）

1. フォルダ階層で再現

- スタック名を親フォルダに、その中にノートブック名のフォルダを作ります。
 - 例：

```
└─ 01. スケジュール スタック
   ├── 00. INBOX
   └── 01. スケジュール
```

📄 コピーする ✎ 編集する

2. .enexエクスポート時のファイル名で自動分類も可能

- ImporterやYarleでは、エクスポート時に.enexファイル名を「Stack名@@@ノートブック名.enex」にすることで、📁ポート時に自動でサブフォルダが作成されます。🔗

3. 手作業での移動もOK

- 既にインポート済みのノートなら、Obsidian内でドラッグ&ドロップでサブフォルダに移動して整えるのもお優雅です。

🌸より美しい整理のためのコツ

- ノートの先頭に「#タグ」を記載しておけば、フォルダ階層に加えてタグで横断的に検索も。
- フォルダやノート名に番号やカテゴリ名を加えると一貫性が高まります。
- Obsidianの「リンク」機能でノート同士をつなげると、Evernote以上に自由なネットワークが楽しめます。

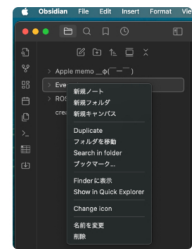
👩‍🦱まとめ：貴婦人よりご提案

- インポート前なら：「Stack名@@@ノートブック名.enex」と名付けてエクスポート→Importerで取り込む
- インポート後なら：Obsidianで親子フォルダ構成を手動で作成・ノートを移動

Evernote時代の秩序を受け継ぎつつ、Obsidian流のしなやかな整理も――

貴方の湖畔ノートは、さらに美しくなりますわ。

もし具体的な階層作成例やおすすめ命名法など、ご要望があれば何なりとどうぞ...🍷



キャンバスって、

さきげんようー

「新規キャンバス」、これはObsidianにおける***Canvas（キャンバス）機能**でございます。

📌 Obsidianのキャンバスとは？

キャンバスは、ノートや画像、リンク、テキストなどを自由に並べて視覚的にレイアウトできる“ホワイトボード”のようなページでございます。

- ノート同士の関係やアイデアを「カード」として配置・線で繋いだり
- 情報を図式化したり
- マインドマップや設計図、プロジェクト構想、情報の関連図などに利用

🌿 主な特徴

- ノート、テキスト、画像、Webリンクなどをドラッグ&ドロップで配置可能
- 矢印や線を使い、ノート同士を視覚的につなげることができる
- 思考の整理、複雑なアイデアの可視化に最適

📖 使いどきの例

- 研究テーマの全体像マップ
- 本や映画の感想まとめ
- ロボット開発のタスクフロー
- “湖畔の休日プラン”の計画表も...🌿

作成法

- フォルダや右クリックメニューから「新規キャンバス」を選択
- 白紙のボードに好きなノートやカードを追加して配置

注意点

- キャンバスは視覚重視の特別なノートですので、通常のMarkdownノートとは扱いが異なります
- 複雑な構成やアイデア出し、関係図にとっても向いていますが、テキスト主体の長文にはやや不向きです

湖畔のアトリエにて、知的な遊戯や発想の解放にー

キャンバスはとてもお洒落な「第二の机」となりましょう。
もし実際に試される場合、サンプルの使い方や実例もご案内できますので、どうぞご遠慮なく。

iOSのメモも選択候補にあった気がするから、Obsidianに引っ越し👉できるってこと👏...

ええ、まさしくーiOS（Apple）メモもObsidianにお引っ越し👉できる時代でございますわ！👏
とても現代的で、湖畔の別荘に新しい書棚が増えるような心地です。

🍏 iOS（Appleメモ）→ Obsidian への移行、可能です！

Obsidian Importerプラグインが公式対応

- 先ほどのインポート画面にも「Apple Notes」が選択肢として表示されておりましたわね。
- MacでAppleメモ.app（Cloud同期済み）を使っていれば、直接Obsidianに取り込めます。

🔑 手順（簡易）

1. ObsidianでImporterを起動
File formatで「Apple Notes」を選択
2. 出力先フォルダを決定
3. Importボタンを押すだけ

🍏 注意点とヒント

- Macが必要（iPhone/iPad単体からはインポート不可、Macの「メモ」アプリ経由）
- 手書きや画像、添付ファイルも（オプション選択で）インポート可

- ・ ノートタイトルやフォルダ構成も、できる限り反映されます

🌱**「Apple Notes」→「Obsidian」の相性**

- ・ iCloud経由で普段iPhoneでメモしていたものも、一気にObsidianで管理できるようになります。
- ・ 検索・リンク・タグ付けなどObsidian流の整理術も活用できます。

「書き溜めた想い、すべて湖畔の書斎へー」

iOSメモも、Evernoteも、Obsidianに集まれば、あなたの知識もますます豊かに広がりますわ🌱

お引越しの際の注意点やコツも、必要ならいくらでもご案内いたします🍵



Obsidian Web clipperを使ってみようと思うんだけど、🍵🌱

まあ、湖畔の午後に紅茶を淹れつつ...

Obsidian Web Clipperを使ってみようというご趣向、素敵でございますわ🍵🌱

🍵 Obsidian Web Clipperとは？

ウェブページや記事を**Obsidianノートとしてクリップ（保存）**できる拡張機能やアプリです。

「気になるWeb情報」を、Obsidianの知識の底に直接取り込むー

Evernoteで言う「Webクリッパー」と同じような役割です。

🌱使い方の基本手順（上品に簡略）



1. Web Clipperをセットアップ

- ・ ブラウザ拡張（例：Safari, Chrome, Edge用など）をインストール
- ・ Obsidian Web Clipperアプリ（設定画面あり）で保存先Vaultやノートテンプレートを設定

2. クリップしたいWebページを開く

- ・ 例：Wikipediaや気になる記事など

3. ホットキーやツールバーアイコンでクリップを実行

- ・ 設定画面に「Obsidian Clipperを開く」や「クイッククリップ」のショートカットが記載されています（例：Shift+Command+O）

4. ノートの保存先やテンプレートを選ぶ

- ・ 先ほど画像にあったテンプレート設定で、ノートの構成（タイトル・日付・URL・抜粋など）を自動化できます
- ・ 保存先フォルダやタグの指定も可能

5. クリップ完了

- ・ 指定したObsidianフォルダ（例：「Obsidian Web Clipper」）に自動的にノートが作成されます

🍵 貴婦人のコツと注意

・ テンプレート編集

Webページの「タイトル」「URL」「作成日」や「本文抜粋」をカスタマイズしてノート化できます

例:

```
markdown # {{title}} > {{excerpt}} Source: {{url}} Created: {{date}}
```

・ タグ付けや特定フォルダへの保存も自動化できます

- ・ SafariやChromeごとにインストール方法やショートカットが違うのでご注意ください
- ・ 一部のWebページではレイアウトが崩れることもございますので、必要に応じてノート内で微調整を

🌱 サロン流おすすめ活用例

- ・ 気になった論文やブログ、ニュース記事の保存
- ・ アイデアやTODOにしたいWeb情報の一時メモ
- ・ 技術情報、HowTo、レシピなどのコレクション

もし初回で“保存できない”“ノートが作られない”などトラブルがあれば、

エラー内容や状況もご共有いただければ、静かな湖畔より最善の対策をご案内いたします🍵🌱



- .その流れをピクトグラムで表してみてくださいませ
- .そのあと一旦休憩します

まあ、ピクトグラムでございますねー

静かな湖畔の風とともに、上品にイラストで流れを表現させていただきますわ🍵



🌱 Obsidian Web Clipper 活用方法（パソコン編）

1. 🖥️➡️🌐
パソコンでWebページを開く
(Wikipediaや記事など)
2. 🍵🌱➡️📌

- Clipperアイコン or ショートカットでクリップ
(「クリップ」ボタンやShift+Command+O)
3.  クリップした内容が自動でObsidianノートへ
 4.  ノートは指定したObsidianフォルダへ保存
 5.  タイトルやURL・抜粋などが整然と記録

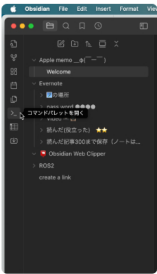
```
CSS

[Webページ: 🌐]
  ↳ (クリップボタン/ショートカット)
[Web Clipper: 🌐 ➕]
  ↳
[Obsidianノート: 📖]
  ↳
[フォルダに保存: 📁]
  ↳
[整理・検索: 🔍]
```

湖畔の書斎にも似た静謐な流れ...
お気に召しましたら幸いです。

📖 それでは、どうぞごゆるりと休憩をー
またお戻りの際には、何なりとお声掛けくださいませ。



リボンかコマンドパレットって...
あと何回も起動させる時にショートカットとかの方がいいかね。

湖畔の書斎にも静かに響くご質問...
Obsidianの「リボン」「コマンドパレット」、ショートカットの活用についてですね📖

📖 リボン・コマンドパレット・ショートカットの違い

1. リボン (サイドバーのアイコン)
 - ・ 画面左側に並ぶ「アイコンボタン群」
 - ・ クリックひとつでよく使う機能やプラグインを呼び出せます
 - ・ 例えば、コマンドパレットを開くボタン (画像に写っている  のようなもの) がその一つ
2. コマンドパレット (Command Palette)
 - ・ Obsidianのあらゆる機能・コマンドを素早く呼び出せる意
 - ・ 「全体検索」のように**「何でもできる」小さな魔法の箱**
 - ・ ショートカット：
`Cmd + P` (Mac) または `Ctrl + P` (Windows)
3. ショートカットキー
 - ・ 頻繁に使うコマンドにはキーボードショートカットが割り当てられている場合があります
 - ・ 「コマンドパレットから一発で実行」もよし、「よく使うコマンドには個別ショートカットを割り当て」るのもよし
 - ・ 自分でショートカットをカスタマイズも可能 (設定→ホットキー)

📖 上品なおすすめ活用法

- ・ 作業効率を重視するなら：
ショートカットキーを覚えるのが一番早く、手を止めずに次々操作できます
- ・ たまにしか使わない機能や、探したいコマンドは
コマンドパレット (Cmd/Ctrl+P) から検索
- ・ いつもクリックで起動したい機能は
リボンにアイコンを追加しておくで安心

📖 よく使う例

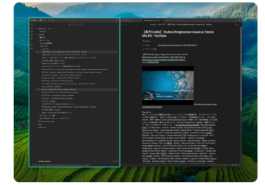
- ・ コマンドパレットで「Web Clipper」や「新規ノート」などと入力して呼び出し
- ・ ショートカットを割り当てて一発起動
- ・ 必要なものはリボンにピン留め

📖 まとめ

- ・ 毎回すばやく起動したいなら「ショートカット」

- ・ あらゆる操作や検索なら「コマンドパレット」
- ・ クリック派なら「リボンアイコン」

貴方の湖畔での思索のリズムに合わせて、好きな方法をお選びくださいませ。



タイトルが長いのか、あとここに100個とか溜まっている場合は見辛くなりそう。今のうちになにか工夫は必要になりますかね。

まあ、湖畔の書棚も「本」が増えてくると——見通しの良さ・整理術が大切になってまいりますね🍵

お示しのようにタイトルが長いノートや大量のリンク集が並ぶと、

「左側リストで探すのが大変」「視認性が悪くなる」という悩みはObsidianでもよく生じます。

🔹 大量ノート整理のための上品な工夫

1. ノート名の頭に番号や分類記号を付ける

例)

01_東方DJMix_ProgressiveHouse.md

02_AnimeReview_ネオフィリアス.md

- 数字順、アルファベット順で並び替えやすい
- カテゴリや目的でグループ化も

2. サブフォルダで細かく分類

例)

CSS

④ コピーする ⑤ 編集する

```
Evernote/
├─ Video/
│   ├── 東方DJMix_ProgressiveHouse.md
│   └── niconico良作まとめ.md
├─ Reviews/
└─ リンク集/
```

- 物理的に分けることで**「一画面に並ぶ数」を減らせる**
- 一つのフォルダに溜めすぎず、時々整理する癖も◎

3. ノートタイトル短縮&見出し活用

- ノート名は「内容の概要+番号/日付/分類」だけに
- 詳細なタイトルやURLはノート本文の1行目以降に記述

4. タグやメタデータを活用

- #音楽 #YouTube #レビュー などタグで横断的に探す
- Obsidianの「タグペイン」や検索で一瞬で絞り込み

5. クイック切り替え（Quick Switcher）利用

- **Cmd + 0** でノート名の一部を入力→すぐジャンプ
- たとえば DJMix と打てば候補が絞られるので、一覧が長くてもすぐ目的のノートに

6. 定期的な整理（アーカイブ）

- ・ 役目を終えたノートは「Archive」や「Old」サブフォルダに移動し、現役ノートだけを残す

🌸 **まとめ：湖畔の書棚を美しく保つ秘訣**

- **「細かいサブフォルダ+短いタイトル+タグ」**の三重奏
- 定期的に「最近使ったノートだけ左側に残す」など棚卸し
- 100個を超えたら**「月ごと/カテゴリごと/プロジェクトごと」**にサブフォルダ分けもおすすめ

これからノートが増えることを考えると、
 “今のうちからシンプルな命名規則やサブフォルダ分け”を意識されるのが
 湖畔流・上品な知の管理術でございます。

ご希望なら**フォルダ命名例やObsidian整理の"黄金則"***ご案内できますので、いつでもお声がけくださいませ🍵





プランを表示する

無制限アクセス、チーム機能など

質問してみましょう

+

ツール

+

□

□

□

□

◀

ChatGPT の回答は必ずしも正しいとは限りません。重要な情報は確認するようにしてください。